

## 2 カリキュラム・マネジメントによる教育活動の工夫

カリキュラム・マネジメントとは、3つの側面などを通して、「各学校が教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと」です。

【カリキュラムマネジメントの3つの側面】

- ①必要な教育内容を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

これは、「学校の新しい生活様式」等を踏まえることや感染症対策への対応が求められる中で各学校が教育活動を行う際にも、必要取組です。

### (1) 教科等横断的な視点で教育課程を編成する

学校の教育目標の実現に必要な内容を教科等横断的な視点で組み立てる（教育課程を編成する）ためには、学校の実態を適切に把握し、学校の教育目標や教育目標を達成するために必要となる資質・能力を設定することが重要です。以下は日出小学校の実践例です。



＜学校の教育目標＞  
豊かな心を育み自ら学びたくましく生きる子どもの育成

	知識及び技能	思考力・判断力 ・表現力等	学びに向かう力 人間性等
長所			
短所			

日出小学校では、学校の教育目標を達成するために必要な資質・能力を明確にするため、以下の取組を行いました。

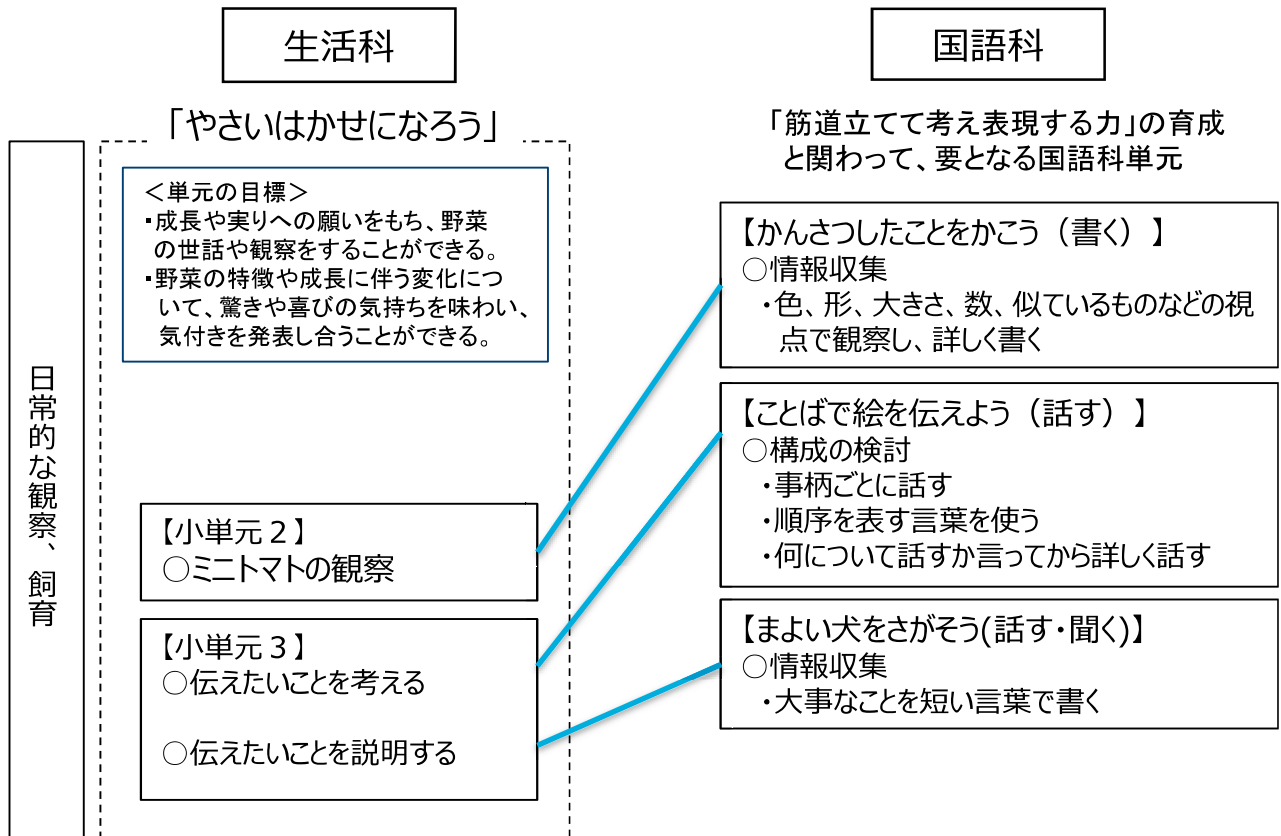
- ①学校の教育目標を実現するために必要となる資質・能力を3つの柱に沿って整理  
※児童に身に付いている力を「長所」、不足している力を「短所」として書き出す。

	＜めざす姿＞ 知識及び技能	＜めざす姿＞ 思考力・判断力 ・表現力等	＜めざす姿＞ 学びに向かう力 人間性等
長所（赤付箋）			
短所（青付箋）			

- ②「短所」として整理された資質・能力として一番多かった「思考力・判断力・表現力等」に着目
- ③書き出された内容と＜めざす姿＞の比較から、「課題解決に向けた思考の筋道や表現方法」に課題があることが明確になり、それをもとに、学校として育成を目指す資質・能力を設定

日出小学校では、学校として育成を目指す資質・能力を「筋道立てて考え表現する力」に重点化し、中核となる教科を国語科としてカリキュラム・マネジメントの取組を進めています。



全教員で、「確かに学び 汎化し 活用を意識付ける」取組を進めることを共通理解し、国語科で育成した「筋道立てて考え表現する力」を各教科等において意図的に活用することにより、確実な定着を図ることとしました。



上記は、国語科で育成した資質・能力の活用発揮を、生活科で意図的に行った例です。授業者は、子どもたち自身が資質・能力の活用を意識できるよう、以下のような工夫をしています。

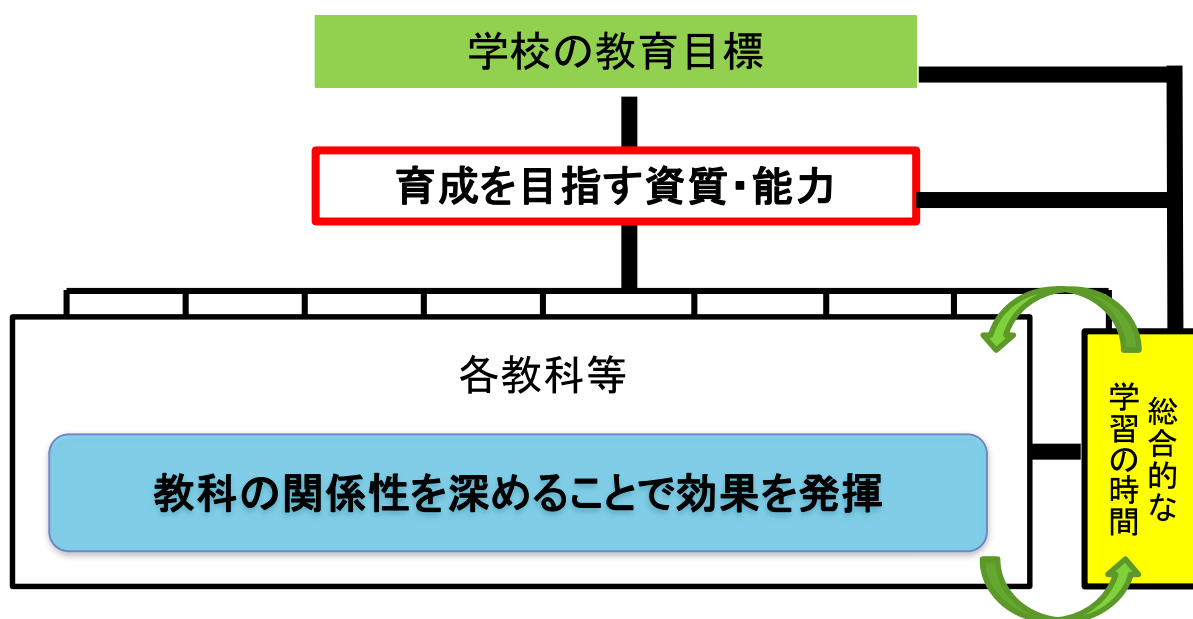
- ▶ 国語科の学習で使用した「説明ことば」等の掲示物を、関連する生活科の単元終了までそのまま残しておく。
- ▶ 国語科の学習を想起できるよう工夫して、生活科で使用する「説明ワークシート」を作成する。

このように、教科等横断的な視点で活用発揮する場面を位置付けることは、資質・能力を確実に育成する上で効果的です。また、本事例では、生活科の中で原稿を書いたり紹介したりすることについて改めて時間をかけて指導する必要がなくなるため、その分の時間を有効活用できます。

  カリキュラム・マネジメントを進める際には、「学校の教育目標」「育成を目指す資質・能力」「教育課程」「授業」が有機的に結び付いているかという視点で俯瞰的に見るのが重要です。

カリキュラム・マネジメントの1つ目「必要な教育内容を教科等横断的な視点で組み立てていくこと」については、以下を参考に、児童生徒の資質・能力の育成に効果的であることが大切です。

- ①総合的な学習の時間は、各教科等の内容との関連を図りつつ、各教科等の学びを相互に関連付けて実生活で生きて働くものとするを旨とする。
- ②各教科の授業がスムーズにできるように単元の入れ替えをする。  
→資質・能力の育成を意識して、関連する単元を結び付け、活用する場面を意図的に設けて子どもたちの知識・技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成につなげる。



現在、新型コロナウイルス感染症対策の対応のため、授業時数の縮減やそれに伴う教育課程の再編が求められています。

カリキュラム・マネジメントの充実とは、あくまで児童生徒の資質・能力の育成を意識して行われるものであり、時数の縮減等を目的とするものではありません。

カリキュラム・マネジメントの充実のための3つの側面は、今回のような非常時であっても、子どもたちに確実に資質・能力を育成するために、どのようなことに取り組むべきかを考える際、大変参考になるものであると言えます。



【カリキュラムマネジメントの3つの側面】

- ①必要な教育内容を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと